



1月のほけんだより

インフルエンザにご注意を！！

今年は珍しく雪もあまり積もらず、例年より気温が高い冬になっています。一年で一番寒い時季の大寒に入るとより気温が下がり、空気もますます乾燥してくると冬の感染症も増加してくるので注意が必要です。今後インフルエンザの患者数も増えてくることが予想されるため、以下の点に注意して予防していきたいですね。

治療方法

・抗ウイルス薬の使用＋症状に合わせた治療
が中心となりますので、罹患した場合は医師の指示に従ってください。

予防方法

- 1. 手洗い**：感染症対策の基本です。帰宅後や食事前等に手洗いを習慣化していきましょう。
- 2. マスクの着用**：口と鼻をしっかりと覆いましょう。
- 3. 予防接種**：病気に罹るのを防ぐだけでなく、症状を軽くしてくれる効果もあります。子どもだけでなく、周りの大人も接種することをお勧めします。

※なお、インフルエンザは登園禁止の病気ですので罹ったら、

「発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過」

してから登園するようにしてください。



予防接種について



3月1日～7日は「子ども予防接種週間」です。年度が変わる前に受け忘れがないかどうか、裏面の表を参考にもう一度確認しましょう。

特に限られた年齢や月齢で受けないといけない予防接種や任意の予防接種も、進級や進学の前に受けておくことをお勧めします。そして、予防接種を受けられたら、連絡帳の後方にある一覧表に記入していただき、連絡帳や口頭でもお知らせいただくよう、よろしくお願ひします。



感染症情報 (12月)

園内感染症罹患人数

アデノウイルス感染	1名
突発性発疹	1名
ヒトメタニューモウイルス感染症	5名

病児保育延べ利用人数

アデノウイルス感染症	5名
インフルエンザ	17名
ヒトメタニューモウイルス感染症	2名
突発性発疹	1名

※ 年末年始にかけて置賜地域ではインフルエンザや水ぼうそうの警報が出ていますので、体調の変化に気を付けましょう。



2019年4月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
不活化ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	☐☐☐	0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけて受けます。1歳以上でも未接種の場合は、できるだけ早く受けることをおすすめします。(任意接種)														
生ワクチン ロタウイルス 任意	1価 ☐☐ 5価 ☐☐☐☐☐	ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けましょう。														
不活化ワクチン ヒブ 定期	☐☐☐☐☐	ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要です。														
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	☐☐☐☐☐	百日せきの感染予防の目的で三種混合ワクチンを1回受けます。(任意接種) WHOもこの時期の追加接種を推奨しています。														
不活化ワクチン 四種混合(DPT-IPV) 三種混合・ポリオ 定期	☐☐☐☐☐	1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)														
生ワクチン BCG 定期	☐	海外では三種混合ワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)														
生ワクチン MR (麻しん風しん混合) 定期	☐☐	集団接種の地域では、同時接種で受けられません。														
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	☐☐	かかったことがない人は2回受けましょう。(※)														
生ワクチン おたふくかぜ 任意	☐☐	かかったことがない人は2回受けましょう。(※)														
不活化ワクチン 日本脳炎 定期	☐☐☐☐☐	標準的には3歳から接種しますが、生後6か月から受けられます。														
不活化ワクチン インフルエンザ 任意	毎秋	毎年、10月から11月ごろに接種しましょう。														
不活化ワクチン A型肝炎 任意	☐☐☐	1歳から受けられます。1回目の2-4週後に2回目、その約半年後に3回目を接種します。														
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス) 定期	☐☐☐	日本産科婦人科学会など関連団体も接種を推奨しています。(定期接種の対象：小6から高1の女子)														
不活化ワクチン 髄膜炎菌 任意	☐	2歳から受けられます。海外留学や寮生活をする人などは接種を推奨しています。														

不活化ワクチン 不活化ワクチン **定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 **定期** 定期予防接種の対象年齢 **↔** おすすめ接種時期(数字は接種回数) **↔** 添付文書に記載のないおすすめ接種時期
生ワクチン 生ワクチン **任意** 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。 **任意** 任意接種の接種できる年齢 **※** 添付文書に記載はないが、接種を推奨
同時接種 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。 **※** 次にはほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日です。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/> **VPD** **検索**